

お役に立てるお薦めの

4冊



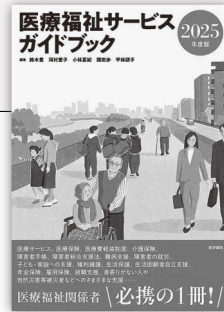
私的高齢者ケア論

リアルな老いから考える、新しいケアのかたち

川嶋みどり 著

著者は94歳、看護師。当事者として経験する「老い」は多彩で新鮮な驚きに満ちていた。自らの加齢による変化を辿りながら、長年の看護師としての経験、老年看護学教員としての視点を重ねて高齢者ケアを捉え直す、個人的かつ主観的な高齢者ケア論。学生からベテランまで、新たなケアの手がかりが見つかる書。

定価：2200円(本体2000円＋税10%)／医学書院



医療福祉サービスガイドブック 2025年度版

鈴木 豊, 河村愛子, 小林夏紀, 関田 歩, 平林朋子 編集

社会情勢の変化に伴い、生じる社会や生活の課題は多様化している。本書は、さまざまな課題を抱える人の生活を支援する医療・保健・福祉サービスを解説するガイドブックの最新版。多くの情報や社会資源を、利用者主体の視点からマネジメントすることが求められる専門職の相談支援の一助となる1冊。

定価：3300円(本体3000円＋税10%)／医学書院



内科医と産婦人科医をつなぐ 妊産婦診療ガイド

日本母性内科学会 監修
村島温子, 三島就子 編集

プレコンセプションケア、妊娠中の注意すべき症候と検査値異常、主な妊娠合併症、母性内科診療特有の慢性疾患合併妊娠などの治療・管理を丁寧に解説するガイドブック。医師だけでなく、妊娠合併症をもつ妊産婦と関わる助産師、看護師も知っておきたい知識をコンパクトにまとめている。

定価：4950円(本体4500円＋税10%)／医学書院



鍵をあけはなつ 介護・福祉における自由の実験

村上靖彦 著

介護・福祉領域の9人の支援者へのインタビューを通して、それぞれの個性的な実践、現場の独特なありようを支援者本人の視点から描き出す。そこに通底するのは、いかにして利用者を管理することから逃れるか、いかにして利用者の自由を保障するのか。そんな自由と創造性にあふれたケアの真髓が見出せる。

定価：2420円(本体2200円＋税10%)／中央法規